

2010年度

科目名	文化財科学実習Ⅱ			
担当教員	三辻 利一			
配当	文財3(2141)	コード	52450	
開期	前期	講時	金曜日2限	単位数 1
授業テーマ	土器の蛍光X線分析について実習する。			
目的と概要	蛍光X線分析法の原理を理解するとともに、どのようにして、土器を分析するか、また、データをどのようにして解析するかを理解する。			
成績評価法	毎回レポートを提出する。レポート内容(70%)と平常点(30%)で評価。			
テキスト	使用しません。			
参考書	使用しません。参考書は紹介します。			
履修に 当たっての 注意・助言	当日に実習内容を十分理解すること。そのため、実習しながら質問をすること。			
講義計画				
第1回	蛍光X線分析の原理の理解(1)			
第2回	蛍光X線分析の原理の理解(2)			
第3回	蛍光X線分析の実際(1)			
第4回	蛍光X線分析の実際(2)			
第5回	K-Ca、Rb-Sr分布図の作成(1)			
第6回	K-Ca、Rb-Sr分布図の作成(2)			
第7回	装置自身による「ゆらぎ」と窯跡出土須恵器の分析データのばらつき(1)			
第8回	装置自身による「ゆらぎ」と窯跡出土須恵器の分析データのばらつき(2)			
第9回	装置自身による「ゆらぎ」と窯跡出土須恵器の分析データのばらつき(3)			
第10回	マハラノビスの汎距離の計算(1)			
第11回	マハラノビスの汎距離の計算(2)			
第12回	判別図の作成(1)			
第13回	判別図の作成(2)			
第14回	検定			
第15回	まとめ			